

● これまでの経過

<平成19年>

- 3月～6月 近縁種のクロアシアホウドリによる実証試験。
9月 環境省野生生物保護対策検討会アホウドリ保護増殖分科会において、事業の実施内容について検討。

<平成20年>

- 2月19日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ10羽をヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。

↓ (山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。)

- 5月19日 ヒナ1羽が巣立ち。
5月25日 移送したヒナ全10羽が巣立ち。
6月30日 発信器装着個体のうち4羽がアリューシャン列島海域に到達。

<平成21年>

- 2月5日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽を、小笠原群島聳島まで移送。

↓ (山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。)

- 5月11日 ヒナ1羽が巣立ち。
5月25日 移送したヒナ全15羽が巣立ち。
10月12日 米国カリフォルニア州サンフランシスコで確認。

<平成22年>

- 2月8日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽を、小笠原群島聳島まで移送。

↓ (山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。)

- 5月18日 ヒナ1羽が巣立ち。
5月29日 移送したヒナ全15羽が巣立ち。